

令和 8 年度：第 6 回 西蒲区自治協議会 会議録

◆会議概要

○日時：令和 8 年 9 月 2 4 日（木）午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 4 5 分

○場所：西川健康センター 1 階 多目的ホール

○出席者

・委 員

石田委員、栗原委員、上原委員、岩崎委員、乙山委員、田中（隆）委員、鈴木委員、
拝野委員、本田委員、近藤（イ）委員、後藤委員、相馬委員、岡崎委員、
近藤（実）委員、池田委員、谷原委員、原委員、藤田委員、岩見委員、吉田委員、
本井文雄委員、田中（久）委員、米山委員

以上 2 3 名

（欠席：本井文吉委員、大橋委員、小柳委員、佐々木（寛）委員、
佐々木（貴）委員、滝沢委員、五傳木委員）

・事務局

区長、副区長（地域総務課長）、区民生活課長、健康福祉課長、産業観光課長、建設
課長、西川出張所長、中之口出張所長、西川図書館長、西蒲区教育支援センター所
長、地域総務課長補佐 2 名、同課係長、同課職員 3 名

・傍聴なし

・報道 1 社

【会議内容】

事務局 (瀬戸補佐)	皆さま、お疲れさまです。これから令和 8 年度第 6 回西蒲区自治協議会 を開催いたします。 それでは、これ以降の会議については、新潟市区自治協議会条例第 9 条 の規定によりまして、吉田会長から議長として進行をお願いいたします。
議長 (吉田会長)	皆さま、こんにちは。第 6 回ということで、自治協議会もいよいよ今回 を入れてあと 7 回です。いよいよ第 10 期も総仕上げに入ってきました。各 部会のほうでも、いろいろな活発なご意見、大変皆さまありがとうございます。 それでは、はじめに、本日の出席状況と傍聴者について、事務局から報告 をお願いいたします。
事務局 (瀬戸補佐)	委員の出席状況についてご報告します。委員 30 名のうち、現在の出席者 は 23 名であり、過半数の出席を確認しています。したがって、新潟市 区自治協議会条例第 9 条の会議の運営規程を満たしておりますことをご報 告申し上げます。本日は報道機関から 1 社、来場しております。

議長 (吉田会長)	それでは、議事(1)に入ります。議事(1)部会の状況についてです。各部長は、前回の部会の状況について、総務部会、保健福祉部会、まちづくり・産業部会、広報部会の順に報告をお願いいたします。 それでは、最初に総務部会の田中部会長をお願いいたします。
田中(久)委員	総務部会田中です。 前は6名での開催となりました。会議内容としては、まずは令和9年度特色ある区づくり事業についてです。こちらは特色ある区づくり事業の委員アイデアと担当課の考え方について事務局から説明があり、意見交換を行いました。総務部会に振り分けられた二つのアイデアへの追記・変更はなく、意見については施策の参考にしてほしいため、担当課へ伝えました。主な意見としては、郷土文化・伝統芸能フェスについて、次の世代への継承についても各地域で考えていかななくてはならない。また、ホッケーDEにしかんぐーについて、ホッケー人口は増えているのか、また競技レベルは上がっているのか、現状を把握・認識してほしい。また、西蒲区がホッケータウンとなっていることを知らない人が多いのではないのか。また、他の区などにもPRするなど、競技に興味を持ってもらい、西蒲区に訪れてもらうようにしたらどうかなどの意見がありました。 続きまして、区自治協議会提案事業についてです。こちらは防災チラシの原案「災害が起きる前に家族で決めておこう!『わが家の避難計画』」について意見交換を行いました。委員各位が実際に原案をもとに避難計画を作成してもらい、家族と話し合いをしてもらうこととなりました。主な意見としては、各家庭で状況が違うので、自分ごととして避難計画を作成してもらいたい。その意識づけのための防災チラシであることを確認しました。以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。今ほどの説明につきまして、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。よろしいですかね。 それでは、こちらのほう、また詳細が決まりましたら、皆さまにも周知を図りたいと思いますので、よろしく願います。ありがとうございました。 続きまして、保健福祉部会、鈴木部会長さんをお願いします。
鈴木委員	保健福祉部会です。先月の部会ですが、私は都合が悪く欠席しました、あと藤田委員が欠席となっておりますが、順調に話を進めてくださいました。内容としては特色ある区づくり事業についての話し合いになりますが、この保健福祉部会で振り分けられた三つのアイデアへは追記・変更はありませんでしたので、そのまま担当課へお伝えしたということになります。主な意見は、以下、用紙に書いてありますのでお読みください。 そうしまして、当部会の今年度事業としては、11月29日の巻文化会館にて、この高野優さんの講演会を予定しておりますので、そのチラシの最終チェックです。また、今後について、その他お話し合ったところです。

	皆さまのお手元にチラシがあるかと思います。「思春期コロシム反抗期と思春期のトリセツ」というカラーのチラシであります。正式には 10 月 1 日から申込受付スタートとなっております。内々ではお知り合いの方等に、こちらのほうでも案内を進めているところでもありますけれども、自治協関係者の皆さまにおかれましては、ぜひとも多数の方にお声がけをいただきまして、めったにない機会ですので、ぜひともこの講演を聞きに来てくださるようご案内を進めていただきたいかと思っております。話によりますと、こどもの事業に関することがなかなか反応が悪いと聞いております。ですが、反応がいいか悪いかだけで事業をするわけでもありませんし、区民の皆さまのために必要なことをもって事業を開催していく。その意義を持ちながら、また皆さまの生活につながる、よりよいものとなるようにという思いがあつての今年の事業でありますので、皆さまもその趣旨をご理解いただきまして、ぜひともご案内にご協力していただきたいと思っております。以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。今ほどの説明につきまして、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。こちらの 11 月 29 日、保健福祉部会のメンバーだけに限らず、自治協の事業ですので、皆さまぜひご出席のほうをお願いしたいと思います。なので、自治協メンバーにつきましては、後ほど事務局のほうからメールを送らせていただいて、出欠確認をしたいと思えます。 また、出席する自治協メンバーについては、前回の総務部会がやったように、当日会場案内とか、会場整理とか、私が勝手に言うのは申し訳ないのですが、ぜひ協力いただいて、みんなで作り上げていければと思います。今、部会長のほうからも、思春期の子という話がありましたが、年齢問わず、年配の方も、今のこどもたちってこうなんだとかと聞くことでも、全然 OK で、自分の孫とか、ひ孫とか、そういった対応にもすごく役立つかなと思いますので、ふるっていろいろな方に PR をしていただければなと思っています。皆さまよろしくお願ひします。 続きまして、まちづくり・産業部会、石田部会長さんお願いします。
石田委員	まち産部会の石田です。よろしくお願ひいたします。 前回のまちづくり・産業部会の概要は、出席が 6 名でありました。会議内容といたしましては、令和 9 年度特色ある区づくり事業につきまして、事務局から説明がありました。それについて、三つのアイデアについて変更はなく、意見については施策の参考にしてほしいため、担当課へ伝えました。主な意見といたしましては記載のとおりです。 それから、8 年度区自治協議会提案事業といたしまして、にしかん応援隊制度の今後の方向性について、改めて部会員一人ひとりの意見を確認し、部会としての総意をまとめたところです。その内容は、大切な制度で継続していくべきであり、これまで協議を進めてきたとおり、団体創設を進め、その団体への移行を目指す。具体的には、各地域コミュニティ協議会を核とし

	て、これまでのまち産部会委員も加入した新たな組織を設立する。また、自治協から生まれた応援隊制度であることから、すぐに自治協から切り離すのではなく、これから創設する団体の役員に自治協から選出いただいた委員も加入してもらうなど、自治協とのかかわりを持たせていくこととして、総意をまとめたところであります。 次回、各地域コミュニティ協議会の説明会等、具体的な方法やスケジュールを決め、組織設立に向け動いていくことになりました。 ちょっと皆さまにお聞きしたいのですが、このようなことが前回の部会でまとまりましたが、吉田会長からは、前回、前々回の本会議でもお話があったように、今のまま盛り上がっていない状況で、だれが引き受けるのか。新組織に移行しても、すぐに消滅してしまうのではないかと懸念が示されました。ついては突然ですが、自治協委員の皆さまから、この場で率直なご意見を頂き、今後の部会の参考とさせていただければと思いますが、何かこの件についてご意見ありますでしょうか。
議長 (吉田会長)	部会長ありがとうございました。まず一点、私のほうからちょっと補足というか、懸念しているのは、ここに書いてあるとおり、自治協がかかわって役員を出すというのは、それは第 11 期の人たちが決めることでしょうけれども、そこで役員を出して、その役員はだれがなるのかということと、もう一つ、自治協議会から完全に切り離すと、今は地域総務課自治協担当の人たちが、細かい事務局作業をしてもらっていますけれども、それを申し訳ないけれども、切り離すような形になります。私が一番心配しているのは、自治協から切り離して、じゃあだれが責任を持ってやっていくのだという話で、コミ協さんのほうで、よしやろうというのがあれば、それは私はもう全然大歓迎だし、OK かなと思うのですけれども、コミ協さんに聞いてみないと分かんないというのもあると思うので、せつかく二年、三年かけてやってきたものを地域に移行して、それはそれでいいことだと思うのですけれども、私はもう 1 期自治協担当にしておいて、協議をしていったら、もっといいのかなと思っているのが正直なところです。いろいろな団体を作ってきて、いろいろなのをやってきましたけれども、大体、二、三年でみんななくなっているのですよね。それはなぜかという、やっている事務局を担当している人とかを含めて熱が冷めていくのですよね。だからそこがやはりちょっと自治協として継続的にかかわっていれば、そこは、それでもなくなるときはなくなりますけれども、まだいいのかな。やはり事務局の地域総務課の今、自治協担当がしていただいているところが、私は一番大きいのであって、そこがやはり協力はしてくれるとは思っているのですけれども、今以上にはできないと思うのです。そこがすごく気になっているので、ちょっと何回もしつこいようですが、話をさせていただきました。 全然それでも大丈夫だよと。じゃあ私らのほうで頑張ってやっていくよとか、今の自治協のメンバーのまちづくり・産業部会の人たちが、我々が基

	礎になって、もう任せてくれということであれば、私は全然いいかと思うのですけれども、何か聞いているとそんな声も出したほうがいいよねという話だけだったみたいなのを聞いていたので、そこを含めてちょっとどうかなと思います。なんか私がはじめにしゃべって申し訳ないのですけれども、皆さまから意見をお聞きしたいということなので、私の言った後、しゃべりにくいかもしれませんが、全然、気にしないでしゃべっていただきたいと思います。いかがでしょうか。
鈴木委員	西川コミ協の鈴木です。 この応援隊についてですが、今の話を聞くと、要は、自治協が進めてくれたから、やはり地域の人にも絡んでもらおうと思って、コミ協にこの意識が芽生えてきたというのは間違いないので、そこはいいことであって、ただ、それが今度、コミ協とか、どこかに投げられるというようになると、多分、もうちょっと、簡単に言えばだらしなくなるというか、やはりのんびりとした形になっていくと思うので、やはりそうすると自然消滅というか、今年はやろうとか、じゃあ来年はなくてもいいんだとか、曖昧な基準がどんどんどんどんできてくると思うので、そこは頑張ってまとめてくれるところがあつた上でいけばいいのかなと。それこそコミ協のほうの事務局とかも中まで見てみますと、けっこう皆さま大変なので、それが負担、どこまで負担かは別としても、やはり忙しくなると負担に感じてしまってやる気を削ぐということを考えれば、やはり引き受け先、まとめ先があるほうがいいのではないかなとは思っています。 ただ、もう一つ、その応援隊でボランティアを募集するのだけれども、もうちょっと踏み込んでボランティアをしたくなる人を養成するというか、そういう気持ちになる方向に動いていくシステムみたいなものがあるほうがいいんじゃないのかなと。今の形だと、ただ来てくださいというだけで終わってしまっている部分も多々見えるので、ですので、やはり協力したいなというように、気持ちにつながるような何かというところを、例えば継続として、また新たに考えていくとかというほうが、より中身の充実した実現に向けてとしては、この応援隊も意味のあるものになってくるのではないかと考えております。
石田委員	まず、我々の部会の案の概要を皆さまに伝わっていないので、大変、すみません、聞き方がおかしかったと思います。 私たちの案というのは、それこそにしかん応援隊をなぜ作ったかということをまず考えますと、西蒲地域には、いろいろなまつりとか、いろいろなイベントがある。しかし、人口減や高齢化等で担い手が少なくなっているという現状です。担い手が少なくなってくると地域が廃れるというような現状なので、にしかん応援隊は何とか継続しなければならないということなんです。 じゃあどこで継続するのかということになりますと、なかなか引き受け

	手はないわけです。それで、自治協がまず担い、我々、まち産部会は、自治協の配下にある部会なので、その部会が担っていくことも重要だろうと。自治協が担えば、各コミ協も担っていただく、担っていただけるんじゃないかと。これをまち産部会とコミ協を何とか工夫しながら、協働しながら、一つの組織にまとめていけば、担い手が育つ。担い手を募集したりしていける。この事業が継続されていくだろうということだと思います。
議長 (吉田会長)	いろいろな意見があるので、それは全然いいと思います。私も別に部会の意見を否定しているわけじゃなくて、すごく心配なので、私も今期で終わるので、だからすごくそういうのを含めて心配なので、非常にその辺どうなのかなと。だからそのところが全然 OK だよということであれば、私も全然、どうぞどうぞという形は思いますけれども、懸念しているところが二つ三つあるよという私のお話です。 ほかに皆さまいかがでしょうか。全然どんなことでも構いません。部会の方でも全然いいと思いますよ。いかがでしょうか。
上原委員	上原です。 私もこのまち産部会の応援隊、最初からかかわってきた一人で、まず一番最初に、来期の人にはこの事業を継続できませんよという話を最初に聞いたときに、じゃあどうするんだということから話が立ち上がったといいますかね。でも職員の方が協力できる部分は今後も協力していくよという力強い言葉を頂いたので、それじゃあ私たちも部会、私も来期はいないと思いますけれども、降りた段階でも協力できることがあればもちろん協力していきたいと思いますし、まつりやイベントなども大体コミ協がかかわってやっている事業と思っています。 そのコミ協さんを巻き込んでいけば、なんとかという言い方は悪いのですが、多分、大丈夫じゃないかと思いますし、部会の中でも高校生、大学生、学生さんをターゲットに、学生さんもボランティアをやってもらえる中で、内申書の評価とか、そういうものに役立てるふうになれば、それも取り込んでいこうという話もしますし、大丈夫だと思います。
議長 (吉田会長)	ほかにいかがでしょうか。
拝野委員	潟東コミ協の拝野です。 今ほどのにしかん応援隊について、コミ協の側からお話しさせていただきますと、要はコミ協から自治協に推薦で、私が来させてもらっている立場で、そこから自治協の提案ということで、コミ協がその自治協の提案だからこそ、にしかん応援隊を使ってボランティアをお願いしようかなという、そういう気持ちがあって使っていただいている部分もあると思うのですね。なので、自治協から離してしまうと、そのコミ協さんが、またちょっと応援隊ではなく、違う方向でまたボランティアを頼むのか、例えば、にしかん応援隊を頼むにしても、一応、ボランティアなのだと思いますけれども、ボランティア

	さんに何を頼もうかといって、いろいろ考えて、仕事を作るではないのですが、一応、お手伝いすることをまた考えたり、それをまたどのようにするか、その話し合いだったり、もちろん来てくださったボランティアの方には、そのおまつりとか、いろいろなイベントごとにボランティアで来てくださったからこそ、その良さみたいなものを教えたい、知らせたいよねという気持ちもたくさんあるので、そこら辺がなかなかうまくいかない部分もあったりとか思いますし、ほかのイベントごと、やはりボランティアでにしかん応援隊に来てもらった人には、それこそ何回も言いますけれども、広くそのイベントのことに知っていただいて、その地域のことももちろん知っていただいて、こんなところよかったよねと、楽しかったよねと言って、お手伝いしたことに対して自分もよかったし、またその周りの方にボランティアに行ってみようよと誘っていただけるような、そんなちょっと楽しかったことだったり、伝えていったらもっと伝わるんだろうなと思いますので、今のところ、にしかん応援隊に来てくださる方が本当に少なく、すぐもったいないなと思ってしまして、私もやはりほかのにしかん応援隊のイベントに参加したいこともたくさんあるのですけれども、内容がちょっと自分に合っていない。例えば、男の方のようなお仕事だったり、ちょっと参加できないような部分もあるのですけれども、もうちょっとこう、だれでもというのはおかしいのですけれども、参加しやすい形のお手伝いをいくつかイベントの中に入れていただいたり、そういうのもいいのかななどと思ったりして、なんかそこら辺もちょっとなかなか難しいのですけれども、自治協さんのまち産部会から始めたものなので、すぐにやはり離してしまうと、コミ協さんが入っていただいている部分もそうですけれども、コミ協さんに突然、にしかん応援隊をちょっと任せるって言われても、多分、コミ協の中でもだれがなるとか、なかなか難しい問題がたくさんあるので、またもうちょっとまち産部会のほうでも揉んでいただいたり、あと皆様の意見を集めていただいて、まち産部会さんが、それを継続する事業というよりも、皆さま自治協の中でもう一回ちょっと継続できる方法を見つけ出せたら、そういう方向もいいのかななどと私の中では考えております。ちょっと言い方がなかなか分かりづらいかもしれないのですけれども、そんなことです。以上です。
議長 (吉田会長)	ほかにかがですか。
本田委員	中之口コミ協の本田です。 今、拝野さんの話もお聞きして、そもそもの評価みたいなところですね。自治協が始めて、そしてコミ協さんにちょっとこういうことをしたので、コミ協さん出してくださいとか、そういった協力をして、何人の方が来たとか、その来た方の人数とか、様子とかは、ここでけっこうお話しして、報告して下さっていたのですけれども、根本に、その仕組み的に、自治協議会

	がこういったことを作ってみて、コミ協さんがどのように、そこがすごくしやすかったとか、人を集めるのにしやすかったとか、その流れの振り返りとかが実際どうかというところで、もしかするとこれが本当に、じゃあ継続して手を放してもいいタイミングなのかとか、やはりその筋道を見ると、まだちょっとあやふやなところもあるのかなと、そこをもう一回ちょっと立ち返るということをされて、そのうえでの結果かもしれませんが、ちょっと思いました。 あと、鈴木さんがお話しされていたみたいにボランティアさんに来てくださいという呼びかけも、それに必死になっているところはあると思うのですけれども、でも私も地域を見ていると、手を挙げる人は大体、決まった人で、本当に何回も何回も出てくださっていたのですけれども、でも本当はそこも大事ですけれども、そこを見て、その次の方々がじゃあやってみようかという、そこからワンステップ上がるためのところもつながりとして見るときに、何かもう一つというところができたらいいのかなという、ちょっと私の言葉にならないところが多いのですが、すみません、思ったことをちょっとお話ししました。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。
米山委員	あまり来られていないから、ちょっと言うのも恐縮なのですが、ボランティアに参加する側の立場からのお話をさせていただけたらと思います。 継続というところに関して、ある程度の仕組みの軽量化ということをしたほうがいいのかなどというのをちょっと話を聞いて思いまして、例えばここにご案内の募集シートがあると思うのですが、これかなり具体的に中身が書いてあると思います。例えば、募集内容で駐車場の誘導係 3 人とか、すべてに定数が振り分けられているわけですが、参加するときには何をするのだろうと想像したときに、駐車場の管理誘導で 5 時間とかというように、逆に想像が膨らみすぎてしまうと、あまり正直そこまで何かプラスでない印象を抱いてしまうこともあると思うのですね。なので、もうちょっと具体的じゃなく、募集する側も楽な気持ちで募集して、参加する側も楽な気持ちで参加できたほうがいいのかなどというところは自分は思っているところです。以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。田中さんいかがですか。総務部会長さんなのでどうぞ。
田中（久）委員	田中です。私は、ずっと総務部会にいて、まち産にはかかわらずに来て、全くこれは外野の意見になるのですけれども、私も今この時点で全く切り離してしまうのはちょっと怖いかなとは思っています。でも、ずっときつとまち産部会でもこれやっていくというのもきついと思うので、少しずつ段階的に手を離していくというのはどうなのかなと思いました。多分、今、飛行機で例えると、いきなり滑走路がなくなってしまう状態だと思うので

	す。そうすると、飛び立つはずの飛行機も上手に飛べなかったり、事故に遭ったりしちゃうので、そうならないように少しずつ、まち産部会でも負担にならないような、何かベースの活動としてそれは残して、さらに新しいことをやっていくような、余白を作っていくような、そうしている間に、コミ協さんとかにも少しずつこういうことですよということを浸透させていくような段階があってもいいのかなと思いました。以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。
石田委員	一ついいですか。今後のにしかん応援隊の募集の仕方、あるいはイベントを各地域にいろいろイベントがありますが、それをどのように西蒲のまつりとしてイベントをやっていくのか。そういうことは徐々にこのまち産部会なり、コミ協なりの人たちと共同しながら考えていくべきだと、私も個人的には思っていますし、そうあるべきだと思います。 とりあえず今、皆さまから声を聞きたいのは、私たちまち産部会の意見としては、まち産部会とコミ協の皆さまと共同しながら引き継いでいくのか、そういうことについて、皆さまからどのように思っているだろうかという声を聞きたいと思っています。以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。 もう一点、私、11 期もまち産部会でかかわってほしいということではないですよ。もう 3 年も応援隊について議論とか研究していただいていたので、まち産からも話していただいていたから、前回言ったように、会長、副会長、全体会預かりという形で、全体会で、じゃあ例えば、来期の話を言うと、来期の人たちが決めることなのだけれども、私としては来期になったときに、応援隊の項目を協議その 2 に入れて、にしかん応援隊について、今後どのようにしていったほうがいいですかねという議論をしていって、会長、副会長が担当して皆さまに諮っていくのをもう一期やったほうが、それこそスムーズなのかなと。でも、各コミ協さんのほうで集まっていたいて話をして、もうみんなでやっていこうという気運が高まって、どんどんやっていこうということであれば、もう安心して、どうぞお願いしますということです。だから、それはコミ協さんにも、これから集まって聞いてみないと分からないことだと思うのだけれども、もしそれがうまくないかなというのであれば、それもやり方も一つかなということで、前回から提案をさせてもらっています。私も付け加えさせていただきました。以上です。 ほかにいかがでしょうか。いいですかね、このくらいで。では、大変ありがとうございました。また、部会のほうで、事務局からいろいろな提案があると思いますが、審議よろしくお願ひしたいと思います。大変ありがとうございました。 続きまして、広報部会ですね。乙山委員お願いします。
乙山委員	広報部会の乙山です。

	第2回広報部会を9月10日に行いました。6名全員が出席しました。 内容としましては、11月に発行予定の広報紙「じちきょう」第25号の発行について校正作業を行いました。紙面レイアウトについて事務局から説明がありました。協議の結果、紙面レイアウトについては印刷業者からの案をベースに修正し、次回の部会で最終確認を行うこととしました。 今回は7月に行った佐久間区長のインタビュー記事を掲載する予定ですので楽しみに。以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。今ほどの説明につきまして、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。 それでは、議事(1)を終了します。 次にその他、西蒲区の課題、地域の情報などです。最初に私から一点お伝えします。参考資料として、西蒲区自治協議会委員研修を皆さまご覧ください。11月26日に予定しております西蒲区自治協議会委員研修の案について説明をします。最終的には10月中旬に調整部会を開催しますので、そこで決定して、10月29日の本会議のときに開催要項をお配りして、出欠を取らせていただきます。事務局のほうから案を作っていただきましたが、会長、副会長のほうで、ちょっとプラスをさせていただきまして、内容的には9時10分に集合、西川健康センターここですね、集合していただきまして、まず曾根神社を通過して西川ふれあい公園、ここで広報用の写真を撮りたいということです。 その後、潟東歴史民俗資料館、美術館を見学していただいて、大体、30分ぐらい。その後このおおけやきを見て、降りて、あまりそこでじっくり見たことないと思うのですけれども、裏のほうにバスを止められますので、そこに止めて、見学して、その後、中之口農業体験公園に行ってください、その取組みを聞いていただいて、澤将監さんと羽黒山の銅像のわきを通過して中之口先人館、こちら25分見学して、中之口のゑびす会館で昼食をとって戻ってくると。 基本的には、見学したところについては、今こういった利用をしていますよとか、例えば、もっとこういうふうにしたら、使い方をしたら、例えば中之口農村体験公園とかについては、やれる内容の限られているのですけれども、もうちょっとこのようにやったほうがいいよねとか、このようにやったとか、先人館についてもすごくいいのがあるのだから、もっとどんどんPRしたほうがいいよねとか。あとは潟東の歴史民俗資料館樋口記念美術館についても、私、正直一回も申し訳ないのですけれども、行ったことがないので、皆さま見ていただきながら、もっとこうPRするといいよねとか、何かそういったのを振り返りに書いていただいて、昨年、ぐる～んバスの経路を回って、皆さまからいろいろなご意見をちょうだいした結果、あそこの越王の里のところにバス停ができたという事例もあるので、研修ですので、そういったのを皆さまのほうに振り返り書いていただけるといいのではない

	かなと思っております。 あと、このほかに、私も、その地域に住んでいるわけではないので、皆さまのほうで、もっとここを見に行ったほうがいいのではないかなというのがあれば、これはあくまでも案なので、事務局のほうに今日、終わったら言っただけであれば、ちょっとまた考えてみたいかなと思っておりますので、基本は、西蒲区としていろいろなところを見てもらうといいのかなと。西川ふれあい公園についても、この後、時代激まつりがありますが、ここ歩くと後ろのほう、私、時代激まつりのときにしか、行って初めてびっくりしましたが、すごくいい遊歩道があるのですよね。そういったところを皆さままで見ていただいて、雨だったらどうしようかなと思うけれども、雨でも普通にやるというような予定でいますので、こちらのほうについてはあくまでも案です。皆さまよろしく願います。 何かご意見ありますでしょうか。それでは、もしここへ行って見たらどうという場所があったら、あとで事務局のほうに伝えてください。よろしく願います。 次に、越後にしかわ時代激まつりについて、鈴木委員より説明をお願いします。チラシをご覧ください。代官奥方様役に区長さんも出られますので、よろしくお願いします。
鈴木委員	西川コミ協です。 チラシと応援隊の募集シートがありますが、応援団の募集、ボランティアの募集としては、委員補助、出演補助、弁当の配付、9時から13時、2名ほど、本部業務の手伝いなど2名ほど募集しております。このチラシを見ていただくと分かりますが、10月11日にあります。この着物を着て仮装をしてというところの募集のほうはすでに終わりました、一応、配役が決まっております。こちらにきれいな女性が写っております。また、着物を着るととてもきれいな姿が見られるかもしれませんね、区長。西川住民は本当に楽しみにしております。けっこういろいろな方々も出てくださいますし、いつもいつも応募いただいて、たくさんの方が来たいというような、にぎやかなイベントとなっております。そうでなくても、屋台とかありますし、その中で、この時代激まつりのいいところは、お店で500円分買うと1枚抽選券がもらえるのです。そうしますと、この代官行列仮装衣装のセレモニーとか、ダンスとか、踊りとか、いろいろ終わった後に3時になりますと大抽選会があつて、豪華賞品がもらえるという、すごいとても楽しみなものになっていますので、この衣装が着れなくて残念だとかだけじゃなくて、どんな人がどんな格好をしているんだろうかなとか、ちょっとそういう別の楽しみもありますので、皆さまぜひ遊びに来てください。以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございます。抽選会すごいですよね。すごい品物がいっぱい出て、私も呼んでいただくので抽選しますけれども、お菓子も最後みんなに、もち撒きというか、お菓子撒きするので、ぜひお子さん連れて、雨でも

	これは体育館でやるので。 代官奥方様役は区長さんなので、ぜひ、皆さま見に来てください。私も後ろのほうにいますので、よろしくお願いします。 何かご意見、ご質問ありますでしょうか。じゃあ皆さま、ぜひ応援隊のほうも募集しておりますので、こちらもたくさんの方お声がけしていただけるとありがたいです。各コミ協さん、各団体含めてグループ LINE 等で回していただけるとありがたいです。よろしくお願いします。 次に、新潟にしかん産業祭について、相馬委員をお願いします。
相馬委員	お疲れさまです。にしかん商工会の相馬です。 募集シートということで出させていただきました。昨年もやったのですが、昨年第 1 回で、その前に商工会の合併を昨年いたしまして、産業まつりをやろうということで、巻でこの時期にやっていた多加良まつりというのがあったのですが、それを主体にして、5 エリアの産業まつりにしようということで、昨年第 1 回ということでやらせていただきました。昨年も応援募集をさせていただきました、今年も抽選会を巻でもやります。昨年は、宝くじ方式で、いわゆる番号のついた札をお買い物ごとに差し上げ、その番号で何かしら当たるということをその産業まつりの日に発表するというで行いました。それはそれでなかなかよかったのですが、現場の盛り上がりをもっと高めようということで、今回はガラポンで、その場でもらえるという形に変えてみようということになりまして、西蒲区全域で、売り出し期間を 10 月 1 日から 10 月 17 日まで、お買い物に応じて補助券や抽選券を配布させていただきます。その補助券、それから抽選券を当日お持ちいただいてガラポンをしていただくと。一番上が岩室温泉利用券が 3 万円、2 万円、1 万円かな。それから、各エリア賞として、各地区からそれぞれ 2 万円相当の品物が出ます。岩室はまた温泉協会さんのお買い物券とは別に、観光協会から 3 万円、2 万円、1 万円の宿泊券系の温泉で使えるやつ。岩室エリア賞として出るのは 2 万円分が 5,000 円が 4 口で、いわゆる岩室エリアで使えるお買い物券が当たったり、そういったものが各エリアから 2 万円相当分が出ます。そのガラポン抽選会に、巻でお正月にやっているガラポンだと、大体 1 万回回すぐらいのガラポンをやるのですね。それが大体、3 日間で 1 万回ぐらい回しているガラポン抽選会をやっている、それを 1 日でやっってしまうということなので、とても人間とガラポンの抽選機が足りないだろうということで、燕市商工会からもガラポンを借りて、ガラポンの数を増やし、そこに人を貼り付けて抽選会をやるということなので、どうしても人が必要だということで応援募集をしております。 ほかに当日の設営やらなんやらというところでお力添えいただきたいということで、仕事はまた別のものもあるので、たくさんのご応募をお願いしたいと思っております。

	10月のいい天気の時にご参加できるかと思いますので、ぜひご参加をお願いしたいと思います。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ガラポンすごいですね。こちらにも抽選会がありますので、これは商工会加盟のところの買い物ですね。スーパーとかではなくてね。ということでお願いしたいと思います。何かご意見、ご質問ありますでしょうか。こちらのほうも、ぜひたくさん皆さまお買い物していただきまして、また当日も輪島市門前からも向こうの特産を売りに来られますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。 それでは応援隊のほうもよろしくお願ひします。ありがとうございました。 次に、角田山麓矢垂の郷フェスタについて、近藤委員お願ひします。
近藤（実）委員	こちらのチラシなのですがすけれども、日にちが10月18日（日）、多加良まつりさんと被っています。それと多加良まつりさんのように抽選会とか、そういう賞品を差し上げますとかというようなものがないですが、ぜひとも、キッズダンスだとか、キッチンカーだとか、ボランティア演奏だとかをやりますので、多加良まつりさんのところに行ってからでもいいですし、来ていただいでも、ガラポンに間に合うように行ってもけっこうですので、たくさんの方のご来場をお待ちしております。 それと応援隊のシートにも書いてあるのですがすけれども、前日に看板立てだとかというような準備の方を3名、当日なのですがすけれども、時間で割り振っていますけれども、同じ方3名でもけっこうですし、この時間帯なら手伝うことができるという方がいらっしゃれば、手伝っていただきたいなと。何分、うちのスタッフがだんだん年を取ってまして、動きがだんだん悪くなっていますので、皆さまの手が必要になってきています。よろしくお願ひします。 ちなみに最後なのですがすけれども、このチラシは ChatGTP で作ったチラシです。以上です。よろしくお願ひします。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。 今ほど、近藤委員からお話が合ったとおり、両方行ってもらえるようによろしくお願ひします。 こちらのほうも、ぜひ、多くの皆さま、遊びに行っていただければなと思っています。何かご意見、ご質問ありますでしょうか。せっかくなので、やはりいろいろなイベントがあったら行ってみてもらえると非常に楽しいなと思いますので、よろしくお願ひします。ありがとうございました。 次に、温泉総選挙について岡崎委員お願ひします。
岡崎委員	岩室温泉では、昨年、温泉総選挙おもてなし部門で2連覇を達成することができました。今年度、3連覇を目指して、今、エントリーしておりますが、今年度、非常に強敵が現れまして、今、埼玉県秩父温泉郷とデッドヒートを繰り広げております。なので、本日、ここにいらっしゃる自治協議会

	の皆さま、職員の皆さま、ぜひとも投票をお願いいたします。ここに QR コードが貼り付けてありますけども、入るとすぐ岩室温泉のエントリーのところに飛びます。皆さま、西蒲区ということで、岩室温泉に、一度は足を踏み入れたことがあるということをご想定いたしまして、ここにちっちゃい番号が入っているのですけれども、これが地域番号というやつで、そうしますと 1 人 2 票投票できるという素敵なものになっておりますので、ぜひとも皆さま 2 票投票をお願いいたします。以上です。
議長 (吉田会長)	私も先日、投票させていただきました。ぜひ皆さま、今日、忘れないうちに投票のほうをお願いします。家族の皆さまからも投票して、この番号を入れると 2 回投票できるんですね。
岡崎委員	そうです。
議長 (吉田会長)	ぜひ、よろしくお願いします。 何かご意見、ご質問ありますでしょうか。ぜひ、じゃあ皆さまよろしくお問い合わせいたします。 次に、こどもを通して共生を考える、池田委員よりお願いします。
池田委員	西蒲区社会福祉協議会の池田です。よろしくお願いします。 カラー刷りで「子どもを通して共生を考える」というチラシを入れさせていただきます。こちらは 10 月 31 日、にしかんまるごとフォーラム 2026 の中で、1 時からの時間帯に住民啓発セミナーを開催するご案内になっております。今年度は障がい児をテーマにトークセッションを行うという形になっておりますので、ぜひ委員の皆さまもご参加いただければ、また、周知にご協力を頂ければと思います。説明は以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございます。こちらのほうにつきまして、何かご意見、ご質問ありますでしょうか。 ぜひこちらの催し、イベントについても、皆さまいろいろな方からこういったのを聞いていただけるほうが非常にいいですので、ぜひお願いをしたいと思います。こういった共生って周りの人たちの理解がないとできないので、ぜひ多くの皆さま、ご都合つけて参加していただければと思います。小柳麻子さんについては、西蒲高等特別支援学校を持ってきた人ですから、ぜひよろしくお願いします。 何かご意見、ご質問ないでしょうか。じゃあよろしくお問い合わせいたします。 次に、オーライ！発酵街道について、乙山委員よりお問い合わせいたします。
乙山委員	チラシが 2 枚ですね。「オーライ！発酵街道開」というオレンジ色のチラシと関連して「郷土料理 BOX&絵本『みちがつないだごちそう』セット」というチラシを配付させていただきました。 この発酵街道開については、西区役所が主導している取り組みなのですが、旧北国街道沿いのエリア、西区ですとか西蒲区、あと弥彦ですね。そういったエリアに多様な発酵文化があるということで、そこからこの北国街道の名前をもじって、発酵街道というイベントの名称です。これが

	10月3日から12日の10日間、各地で行われています。 その郷土料理 BOX&絵本については、NPO 法人にいがた食の図書館さんが、北国街道沿いのエリアにある郷土料理、後世に残していこうということで作ったものです。西川地区の麩ずし、あと角田地区のしょっからいわしですとか、あと巻地区のからし巻きといったものが入っています。また、絵本とセット販売になっているのですが、絵本の中では、この麩ずしとしょっからいわしとからし巻きについて説明されています。こちらが限定 100 セットで、すでに 9 月 20 日から予約受付を開始していますので、ぜひ食べたいという方はすぐにでもご予約いただければと思います。 こちら販売するのが 10 月 10 日ですね。松野尾にあります、笹祝酒造さん、こちらが 10 日と 11 日に蔵開きというイベントを行っていますので、そのうちの土曜日 10 日にこちらの郷土料理 BOX を販売いたします。笹祝酒造さんでは、有料ですが、お酒の飲み比べもできますので、ぜひ行っていただければと思います。内野駅と巻駅から無料のシャトルバスが出ていて、あとぐる〜んバスも走っていますので、お酒を飲んでも大丈夫です。 こちら、絵本も付いてお子様でも美味しくいただけるものなのですが、どちらかというと大人向き、もっと言うと酒飲みに向けた味付けになっているほうですね。僕も試食会に参加しておいしくいただいたのですが、僕自身はお酒を飲まないで、軽々にこれお酒に合いますとは言えないので、ぜひ酒飲みの意見として佐久間区長からひとこと頂ければと思います。
事務局 (佐久間西蒲区長)	郷土料理 BOX&絵本ということで、みちがつないだごちそう、私も個人的に昔から西蒲区の郷土料理、食にすごく興味があって、個人的にこの NPO 活動を応援しているところなのですが、乙山さんはじめ地元の皆様のご協力を頂いて、岩室温泉の小鍛冶屋のシェフ熊倉さんからこんな素敵な郷土料理 BOX を作っていただきました。本当にお酒がないとだめなぐらいぴったり日本酒に合います。ちょっと味付けが濃いので、西蒲区の方は塩分が多いのは心配なのですが、このときだけはしっかりと塩分も取っていただいて、絵本も見ながらじっくりとその新潟市の西蒲区の郷土料理、食、そしてその背景にあるストーリー、そういったものに思いをはせてもらいたいなと思っています。にしかんなないろ野菜とか、いちじく越の雫とか、本当に西蒲のものをふんだんに使っていただいておりますので、ぜひ皆さまご予約ください。この絵本では、角海浜の毒消し売りを、ドクケシちゃんという可愛い女の子が郷土料理を紹介するという構成になっていますので、ぜひお子さんにもそれを読んで聞かせてあげてほしいなと思っています。よろしくお願いします。
乙山委員	ありがとうございます。以上です。
議長	お酒にすごく合うらしいので、皆さま予約してぜひ来てください。

(吉田会長)	ちなみにちょっとは余談というか、補足になりますが、実は10月10日、11日、今ほどの笹祝さんの蔵開きをやるのですけれども、毎回、歌を歌う人が来ていて、今回、そのお願いしていた人がだめだということになり、笹口社長から電話をもらって、10月10日、皆さまもすごく分かっている人が来ることになりました。10月10日11時から、元区長の鈴木さん、スーさんと元産業観光課にいた、今は古町ルフルのほうなのですけれども、大森さんが二人で来て、ギターを片手に流しのように歌ってくれますので、ぜひ会いたい方、一応、11時から一時間半ぐらいまでいる予定にしていますので、そちらも併せてよろしくお願いします。 何かご意見、ご質問ありますでしょうか。ありがとうございました。ぜひ、みんなで各地域を盛り上げていきましょう。 次にA I 予約型乗合バス「みなくるん」の実証運行について、地域総務課長に説明をお願いします。
事務局 (小林地域総務課長)	地域総務課の小林です。 10月5日から表記のA I 予約型乗合バス「みなくるん」の実証運行が始となりますので、ご報告をさせていただきます。現在、公共交通につきましては、利用者が低迷しているということで、移動手段の確保を図ることがなかなか困難になってきております。そこで新潟市といたしましては、今回、初めてですけれども、南区と西蒲区の一部でA I 予約型乗合バスというものを設定させていただいたところです。このみなくるんですが、普通のバスは決まった時間、ルートを走る定時定路線型というようなバスになっておりますが、これは、利用者の予約に応じて最短のルートをA I が計算して運行するというものです。 西蒲区におきましては、パンフレットの中ほどを開いていただきますと、路線図が出ておりますが、西川、それから潟東地区を経由いたしまして、白根まで行く曾根駅線の沿線のエリアにおいて導入されています。なお、こちらの路線ですが、平日の朝の便は今までどおり定時定路線バスを運行しております。通勤通学で使う人のために定時定路線でやっておりますが、午前9時から午後6時便までが予約制となりまして、おおむね一時間に一本出るような形になっております。運行時間ですとか予約方法は、こちらのパンフレットの裏面などにもありますので、ご覧いただければと思います。 なお、今回、このような路線が初めてということと、また予約の仕方が最初は慣れないという部分がありますので、予約方法のやり方を説明する利用者説明会を予定しております。1回目が9月29日(火)午後6時半から西川地区公民館、2回目が10月2日(金)午後2時から潟東地区コミュニティセンターで予定しております。申し込みは不要ですので、当日、直接会場までお越しください。 パンフレットの運行エリア乗降場所は中ほどの見開き記載のとおりですが、今回、A I 型ということで、乗る場所、降りる場所をある程度、任意に

	設置できるというところで、今回、星がついている場所のところを新しく乗降場所として拡大しているところです。特に潟東地区におきましてはポイントを増やしておりますし、また白根のまちなかのほうにおきましても、スーパーの前ですとか、医療機関の前などに細かく設置しておりますので、ぜひご活用をしていただきたいと思いますと思っています。私からは以上です。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。曽根駅から潟東を通して白根南区という形になります。 何か皆さまご意見、ご質問ありますでしょうか。ぜひそちらのエリアの皆さま、積極的に PR をしていただきまして、委員の皆さま、そっち方面の方、ぜひ一回は利用してみただけるとありがたいかなと。実証実験なので少ないと多分、これ導入しなくなると思うので、多く声をかけていただきたいと思いますと思っています。よろしいでしょうか。ありがとうございました。 それでは、説明は以上になります。 私から二点、ちょっと口頭で説明をさせていただきます。まず、皆さまから区自治協議会のロゴマーク作成についてご協力を頂きまして、ありがとうございました。私と市民協働課のほうで、8月10日、新潟デザイン専門学校さんの1年生の生徒さん61名にプレゼンと提案をしてまいりました。結果、1年生61名の生徒さんが全員授業としてロゴマークを考えていただくことになりましたので、ご報告を申し上げます。ついては、1月か2月の、まだこれ確定ではありませんが、全自治協議会委員から投票してもらおうと考えているので、そんな形で皆さまにかかわっていただければなと思っています。詳細が決まり次第、全体会で報告をさせていただきます。ありがとうございました。 次にもう一点、9月17日、アルビですね、オイシックスですね。オイシックス対巨人戦、西蒲区2,000人招待ということで、観光大使の難波さんが始球式を、プレ始球式の前のピッチを行ってもらって、多くの皆さまから参加を頂きました。ありがとうございました。また、こちらもブースのほうで、区長さんはじめ岩室温泉のおもてなしの PR とか、地元の食べ物とか PR していただきました。せっかくなので区長さんから一言お願いしたいと思います。
事務局 (佐久間西蒲区長)	皆さまのご協力で西蒲区デイという、各区がそれぞれのデイを持っているのですけれども、最後、西蒲区デイということで、巨人戦ということもあり、平日の入り込み客数の最高記録を記録したということで、5,700人を超える方から参加いただきました。難波さんもその場でセレモニアルピッチということで、事前の練習をして、バッティングセンターに通っていいボールを投げたいということで投げていただきました。残念ながらその席上で、西蒲区 PR 大使を次の人につなげたいというお話もあったので、またその辺については追々皆さまにもご連絡したいと思いますけれども、本当に盛り上がり過ぎて西蒲区を大いに PR をし、マウンド上で岩室芸妓さんが太鼓や

	踊りを披露していただくという、本当に盛り上がった会になりました。またこういう機会がありましたら、皆さまからもぜひご協力を頂いて、みんなで西蒲区を盛り上げることをやっていければなと思っております。ありがとうございました。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。区長さん、残念ながら公務だったので、お酒を一滴も飲まずに最後まで試合見てられました。ありがとうございました。 それでは、本日の用意した議事、その他については以上であります。皆さまのほうから、何か皆さまに PR とか、お話がある方いれば、挙手にてお願いいたします。なければ、岩崎副会長から締めていただいて、事務局にお返ししたいと思います。
岩崎委員	岩崎です。 本会議、お疲れさまでした。大変多くの議題というか、話がありまして、いろいろな意見も頂きましたので、それをまた踏まえて、事務局にお願いしたいと思います。 いろいろ紹介ありましたが、10月は天候もよくなりますし、各地域イベントもたくさん開催されます。ぜひ委員の皆さまからも参加を頂きまして、盛り上げていていただきたいなと思います。 今期半分といいますか、あと残り6か月となりましたので、最後まで盛り上げていただきたいなと思っております。本日は、どうもありがとうございました。
議長 (吉田会長)	岩崎副会長、ありがとうございます。 それでは事務局に司会をお返しします。
事務局 (瀬戸補佐)	ありがとうございました。 事務局から、次回の西蒲区自治協議会についてご報告します。 次回の自治協議会につきましては、10月29日(木)の午後に開催予定です。会場は巻地区公民館となりますので、お間違いないようにお願いいたします。ご案内につきましては、後ほど、改めて送付させていただきますのでお願いいたします。 それでは、以上を持ちまして、令和8年度第6回西蒲区自治協議会を終了いたします。お忙しいところありがとうございました。